

公園を地域の雪置き場として活用

これまでに市内 **545カ所** で実施

冬の期間、覚書で一定のルールを設けて、公園を雪置き場として使用しています。

取り組み事例 子どもの安全が確保され、住民の交流も盛んに

この地域は道幅が狭い住宅街。冬になると、自宅で処理しきれない雪が通学路沿いに積み上がり、子どもが事故に遭う危険がありました。そこで市と話し合い、公園にある遊具を動かしてスペースを作り、雪置き場にしました。これによって道路の雪が減り、子どもたちも安全に歩けるようになった上、雪を置きに来る住民同士の交流も増えましたよ。

南区藤野緑町町内会会長
ふくだしげる
福田 茂さん



↑雪置き場になった公園。奥まで雪が積み上げられている

こんな取り組みも!

新しい地域の雪置き場 ゆきだるマン広場

地域・企業・市がルールを決めた上で、企業の遊休地や、個人の土地などのスペースを雪置き場として利用する取り組みを試行的に行います。

※ダンプなどでの搬入は原則できません



↑看板が広場の目印です

スペースを貸していただける企業、個人の方を募集!

雪対策室計画課
☎211-2682に連絡の上、詳細をご確認ください。

雪を学び、楽しむイベント ふゆトピア・フェア in 札幌

「雪がつくる人の絆」をテーマに、シンポジウムや除雪機械の展示・実演会のほか、子ども向けのチューブ滑りなどの催しも実施。雪とのふれあいを通して、雪を楽しむ方法や、雪と共に暮らしてきた人々の工夫などを再発見できるイベントです。

日時 1/21 (金)、22 (土) 午前10時～午後5時 (22 (土) は午後3時まで)。

会場 コンベンションセンター (白石区東札幌6の1)。

除雪機械展示・実演会は豊平川緑地 (中央区南7東2)。

※各イベントの開催時間など、詳しくはふゆトピア実行委員会 ☎709-23111 にお問い合わせを



わたしも会場でも待ってるぞ!



雪との暮らしをより良いものに

雪が降ると生活環境が大きく変わり、冬ならではのルールが生まれてきます。札幌の冬を過ごす上では、そのルールを守りながら、雪と上手に付き合っていかなければなりません。

今回見てきた取り組みは、ルールが守られないことが原因で生じた課題を解決するため、市民・企業・行政が知恵を出し合って生まれたもの。最初は小さなアイデアでも、次第に大きな輪となり、今では市全体の冬の暮らしを支えるまでに広がっているのです。

地域を動かし、札幌を支える、雪との上手な付き合い方。皆さんも考えてみませんか?

札幌らしい雪との上手な付き合い方... わたしも考えてみるか!



雪には、組織や立場を超えて人々をつなぐ力があるんじゃないかな

雪対策に関する詳しい情報はホームページでもご覧になれます。www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki